



!!!  
!!?

赤井秀二に

降谷零が

あるわけ

驚愕中

なにがさる

なんて

!!!

**R 18**  
FOR AGES 18 AND UP!  
Crown icon



やあ  
降谷くん  
誘いを受けてくれて  
ありがとう

—組織壊滅後  
件の確執も和解ができた  
赤井と僕は  
たまに一緒に飲み  
行ったりする所謂  
友人という関係に  
おさまっていた







普段もやみたい  
に  
大人しければ  
可哀げがあるのだがな



んっ  
…あかい？



近頃は店  
のテイルだ  
つた  
…

…

…



んっ

…赤井  
まさかとは  
思いますが

そういう意味で  
連れて来たんです？

違

僕は…

そういう意味でも  
いいかな…って  
思ってるんですけど

≡…



酒に酔った君を  
介抱するためだけに  
連れて来ただけだ

……なれば  
いいじゃないですか  
そういう関係  
だったら

まず君とは  
そういう関係では



僕のこと  
口説いてオトして  
みてくださいよ……

それとも僕じゃ  
やっぱり……  
ダメ……ですか……？

……っ



降谷君？

降谷零くん？

よ……



……ダメという  
つもりではないが

それじゃ  
腹くくっていい加減  
僕を口説いてください……



理性と  
平常心の  
綱渡り





たしか昨日は……



昨日は少し  
飲みすぎたか



夢なのかな 夢だよな  
そうだよな 降谷零!?

途中から何か  
とんでもない事を  
してた気がするけど



待てよ

モ  
モ

第一赤井は  
俺に対して  
そういう気をおこすと  
考えにくいし

家に帰ってきたの  
だっけ少し記憶が  
曖昧だけど玄関先で  
靴を脱いだ覚えもある

つまり夢だな!

← ???

普段気づいて  
いなかっただけで

深層心理では  
そういう感情が  
あったってことじゃ  
ないですか？



...というよりも

赤井捜査官と  
何かありましたか

え



いや別に  
今アイツの名前  
出てなかっただろ

それはそうですけど  
降谷さんが前から  
意識を向けている相手  
なんて想像つきますよ

んな





僕は赤井の……

降谷君

あんな夢を  
見てしまうくらいに

あいつのことを  
考えてしまって  
しょうがないのは





安室さんが殺されるかもしれないって

……赤井さんに

……え？



直接話……うん……うんわかった

ちょっと……なんなの急に大声出して



悪い灰原  
俺ちょっと安室さんには話聞いてくる

バァバァバァ……

薬預かっておいてくれ！



今回の赤井さんの来日は急だったし

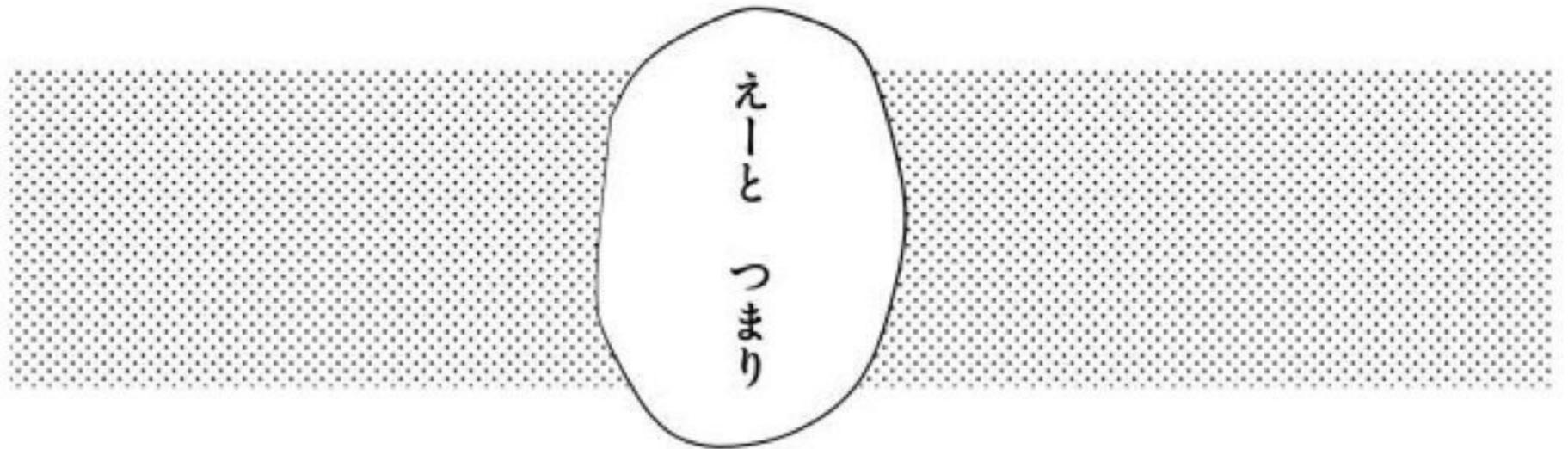
ひょっとして組織の人間を処理するよう指示されたのか……？

でもそれだと納得いかない……



……彼が思う事件とは全然違うような気がするけど









どどうも  
してませんよ

ギク



降谷くん？

どうかしたのか  
顔が真っ赤だぞ



—あまり

…はい

無理だけは  
するな

何かあれば  
俺を頼れば

…いいな？

……ってことが  
あったりとか



相変わらず  
美味しいものだな

そりやどうも  
ハムサンドは  
久しぶりだったん  
ですけど

口にあつた  
ようで何より



あ



…こんな食事を  
毎日作ってもらえる  
相手はさぞ幸せ  
なんだろうな

君だけさ

こんなことを  
つい言ってしまう  
相手は

ドキ

降谷くん

あはは

またそうやって  
貴方色んな人に  
言うとは

誤解され  
ちやいますよ?



…とまあ  
こんなことが  
あったり

か

赤井さん絡むと  
前より大変な  
ことになってんじゃ  
ねーか……

和解して  
聞きたら……



お食そ  
あげかべ  
でわたい  
いいい  
ですすよ  
ねすよ  
いいな!?

いいな!?

脳が

ニ

ニ

お食そ  
あげかべ  
でわたい  
いいい  
ですすよ  
ねすよ  
いいな!?

それからと  
いうもの

赤井と会った時に  
意識してしまって  
振り回されるんだ！

重信君  
守りまー！

このほかにも  
まだあるんだけど

ももついでかな

DPで盗まれたり  
盗まれたり

自然と  
目で追うよな  
なってる

意識しないように  
すればするほど  
醒まなくなつて

はき

結：アイツとは  
色々あった頃から

……ここが一番の  
問題なんだよね

……  
どうして？

うん

でもさ

安室さんって  
組織に潜入したとき  
使い分けられてたじゃない

トニー・ダーク  
アラスカ



降谷くん

まったく  
何してるんだ  
お前

もう作戦会議  
始まるんだぞ

早く行かんぞー

——赤井は



君とこうやって  
話しているからな

そりゃ  
楽しいさ

安室透や  
バーボンではなく

……なんですか  
ご機嫌ですね

「降谷君」にむけて



褒め言葉として  
受け取っておきます……

……っ  
そうですね

そんなことを  
言うから

かま



安室がバーボンをつけて  
隠れることもできるかも  
しれないけど

赤井と今  
あつて隠すのは  
ただの被害者だ

せつやくアイアと  
友人になれたのに僕のせい  
でそれを失うことに  
なるかもしれないと思うと

安室さん！



！安室さんは  
知ってるよ！

それは僕も  
知らなかった

僕とは違って  
つて意味で

赤井さんが  
死んだつて聞いても  
信じられなくて  
置いてかかれてもいたし

それって



赤井さんのことを  
よく知ってる  
いるからこそ

できた行動  
だと思うんだ

だから今回も

僕じてみて  
いいんじゃないかな

！きつと赤井さんは  
それだけで安室さんを  
隠いになんかならないよ？



コナンくんの  
言うとおりの



やっぱり  
君はすごい子だよ



今度御礼にまた  
ご飯ごちそうするよ  
リクエスト聞くから  
食べたいもの考えてて

じゃー



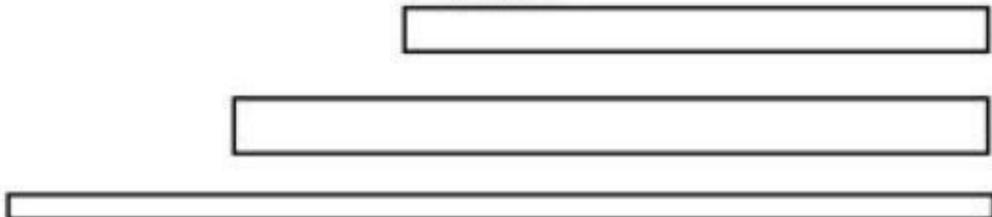
うん

ありがとう  
安室さんも  
がんばってね！



こんなの  
僕には  
似合わない

こんな簡単な  
ことに気づかなかった  
なんてね…





「この場所には、  
まだ誰もいないはずだ」

「……」

「ただ、  
ただ、」



「こんな場所で  
何してるんですか田  
お前なんですか田田」

「いや」

「しまった  
そういふことを  
言わないでください」

「少しばかり  
外の空気を  
吸いこむな」



「赤井！」

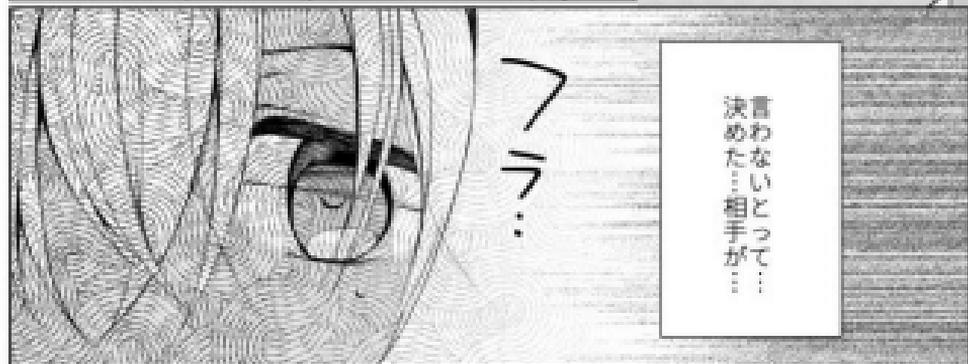
「なんか……  
赤井がばやけて……  
みえ……」

「#」

「……」

「……あれ……」







「あ、あ」

「いっしょに  
いるんです」



「まだ本調子では  
ないんだろう」

「無理だけはするな」



「赤井……」

「君の部下に  
頼まれたんだ」



「まいは  
介抱役だ」

「ここ最近の  
君が本調子じゃ  
なさそうなので  
休ませてほしいと」



「風見」



すみません

だから  
言ったらもう

わっ

……



さっさから  
心臓の音が  
うるさい

一人に

こんを近さだに  
伝わってしまっ  
たらう

命に行っ  
てたんです

どうしても  
話したい人が  
いたんです

……仕事の  
ことですか？

……遅います



ホ……

……私がここまで  
無理をしても  
話したい相手  
か

そっか

……私が  
ここまで赤井と  
会って話したいと  
思ったのは

赤井に……  
話かかれてるかも





会いに行つた  
相手は貴方です

……  
赤井



ぼっ……

貴方といると  
自分らしく  
いれなくて

前までの  
貴方への感情とも  
違ふものがあるって

それで……

僕 おかしなこと  
言ってるのかも  
しれないんですけど

ツキ

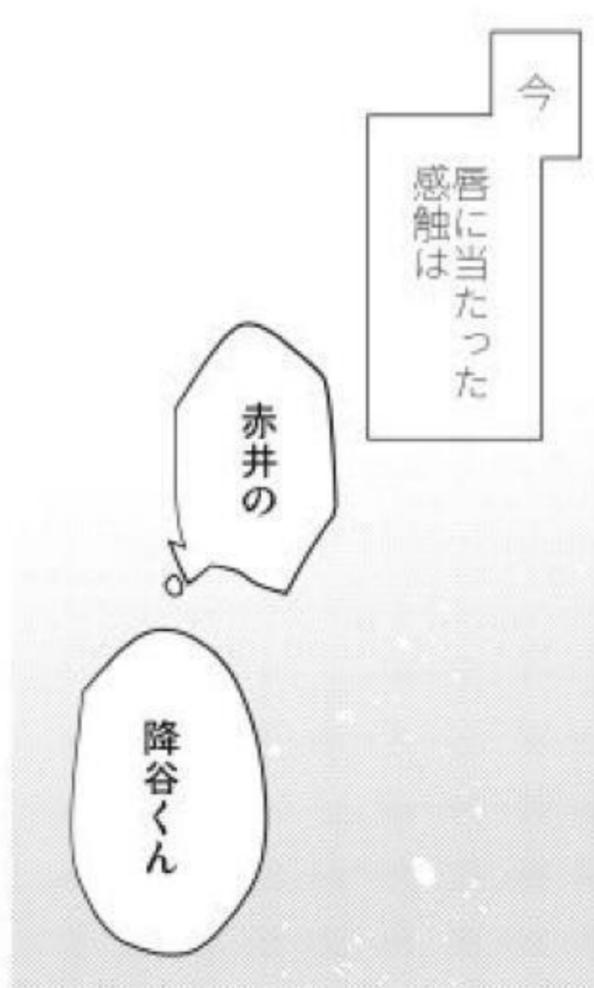
ツキ

ツキ

ツキ……

ツキ







！

…俺の心音は聞こえるだろう

君に嘘をつくためにこんな器用な真似はできんよ 降谷くん



は!?

本当だ

だだって

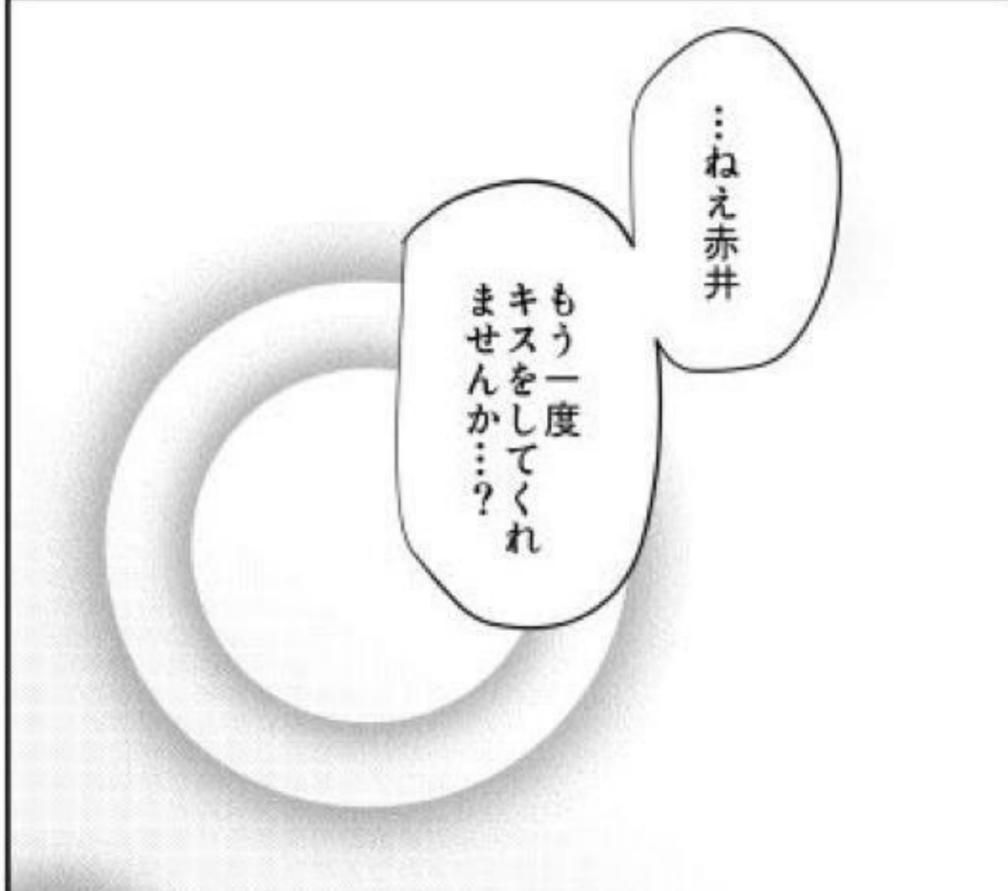


赤井は優しいから

僕に気を使ってくれてるんじゃないかって



そう…ですね 信じます 赤井



…ねえ赤井

もう一度キスをしてくれませんか…?







君が覚えているかは  
わからんが…

前に飲みに行つた日の  
続きが…したい



あれ僕の夢だつたんじゃ

待って  
ください

らいや？



飲んだ…って

は、



…というか  
待ってください

赤井今

……ムラムラ  
したんですか？



酔つた君に  
馬乗りされ  
たぞ

想い人に迫られて  
勃たない男がいるか  
ば、た、す

僕相手に勃つとか  
思いませんでしたし…夢かと…

だって赤井  
僕に馬乗りされて  
勃つてましたし

あの時は  
失態を晒して  
本当にすみません…

ま、ま、ま…



そりやもちろん  
反応してしまっ  
てるんだが

ダメなら  
無理強い

おっ!!  
あててくるな!!



…ダメとか  
言っていない

僕も前に  
その…しようと  
してたなら  
でも…  
優しくは  
してください



—もちろん

ハハ  
ハハ





……  
そそる眺めだな

な……に

それより……っ

はま

はま

貴方もソレ  
もう……  
ガチガチに  
なってる



……

……してあげても  
いいですよ



はま

はま

はま

はま

はま

はま

はま

はま

はま



ほお…れすよ



なんですか  
この大きさ  
僕のより大きいし  
悔しい

あんまりじろじろ  
見られるのは  
どうも恥ずかしいの  
だが

うるさいです  
それ以上言うと



降谷くん…ッ

んむ



無意識に  
その顔を  
するの  
か  
君は…ッ





僕が貴方を  
気持ちよく  
してあげられた

世評でも  
美味いと言えん  
自慢だ、

…苦いな

それでも  
この味は

その証だから  
悪い気は  
しません…



赤井…今度は



僕の中に  
くれませんか…？



んん

んん

んん

それ以上に  
貴方のことが  
ほしいです……



「慣れてない  
苦しいんじゃない  
のにか？」

いきなりなのは  
わかっていきます……

それでも



……じゃあまず  
開かないとよ

うん

……あ



んん

んん

んん

んん

んん

んん



……いいんだな

んん

んん

んん

うん

……いいです  
書つてあるから

んん









俺に抱かれています君のことが

怖いくらいに愛おしくてたまらない……

びっ

びっ

びっ

びっ

びっ

びっびっ

びっ

びっ

びっ





—零くん

ちゅ

君が望むのなら  
たくさんの愛を囁くよ

俺だって心も身体も  
君しか見えていないさ



ああ  
なんて殺し文句

ここぞで  
名前呼び  
ですか…

僕の全身を  
つらぬく

…っホント  
気障だなお前…

こんな言葉を  
言えてしまうのは



とっても  
嬉しいに  
きまつてる！

名前で呼ばれるのは  
お気に召さないか？

まさか

きっと世界で  
ただひとり

あなただけだ